

令和2年度 第2回千歳市都市計画審議会 会議概要

日 時：令和3年1月27日（水）14:30～15:50

場 所：千歳市総合福祉センター402号室

出席者：（委員出席者）山林委員（会長）、長島委員（副会長）、有村委員、古川委員、今野委員、松隈委員、瓜生委員、野田委員、西澤委員、北原委員、三崎委員、青柳委員、野崎委員
（委員欠席者）藤川委員、藤澤委員、青木委員
（事務局）副市長、企画部長、企画部次長、まちづくり推進課長ほか4名
（傍聴者）0名

【会議結果】

1 会長・副会長選任

会長に山林由明委員、副会長に長島信行委員が選任された。

2 議事録概要の公開について

本審議会の発言内容を要約した会議概要を作成し、市ホームページにて公開することについて、承認された。

3 諮問事項

- （1）千歳恵庭圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更（北海道決定）
- （2）千歳恵庭圏都市計画区域区分の変更（北海道決定）
- （3）千歳恵庭圏都市計画用途地域の変更
- （4）千歳恵庭圏都市計画下水道の変更

上記の諮問事項について、承認された。

4 協議事項

- （1）用途地域の指定のない区域内の建築物に関する建築基準法の規定に基づく数値の指定変更案（北海道決定）

上記の協議事項について、協議済みとなった。

5 報告事項

- （1）「千歳市第3期都市計画マスタープラン」及び「立地適正化計画」の策定状況について
- （2）「千歳市景観計画」の策定状況について

上記の報告事項について、報告済みとなった。

6 その他

【会議における意見及び質疑応答等】

1 諮問事項

- (1) 千歳恵庭圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更（北海道決定）

【委員】

区域区分の方針（2頁）では、計画人口をおおむねで記載しているがどのように算出しているのか。

また、千歳市と恵庭市の計画人口の内訳も確認したい。

【事務局】

計画人口は、千歳市と恵庭市の人口を合算して端数を四捨五入し千人単位で算出している。

市街化区域内人口の内訳は、令和7年で千歳市が89,700人、恵庭市が66,200人、令和12年で千歳市が90,400人、恵庭市が64,500人である。

- (4) 千歳恵庭圏都市計画下水道の変更

【委員】

白地地域が増加することで下水道普及率は変わってくるのか。

【事務局】

次回の整開保に記載する下水道普及率は、変更になっている可能性がある。

2 協議事項

- (1) 用途地域の指定のない区域内の建築物に関する建築基準法の規定に基づく数値の指定変更案（北海道決定）

【委員】

補足資料の別紙1の新旧対照表（4頁）で「市街化調整区域」を「白地地域」と変更しているのはなぜか。

【事務局】

建築基準法にあわせて「白地地域」と表記することになっている。

3 報告事項

- (2) 「千歳市景観計画」の策定状況について

【委員】

千歳市としては、7月に世界遺産登録の審査が通ると考えているのか。

【事務局】

報道では世界遺産登録に向けて審査が順調に進んでいると聞いているので、当初の予定通り登録されると考えている。

【委員】

国道 337 号がキウス周堤墓群を貫いていることは審査に影響はないのか。

【事務局】

世界遺産登録に係る審査についての詳細は知らされていないが、これまでに指摘されているといった情報は入ってきていない。

【委員】

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、18 遺跡から 17 遺跡に減っている経過があるので、キウス周堤墓群が候補から外されることがないように注意が必要である。また、国道 337 号が国道でなくなった後の対応はどのようになるのか。

【事務局】

国道 337 号の見通しについて決定していることはなく、今後協議していくことになる。

【委員】

千歳市景観計画がどういうものであるか簡単に説明してもらいたい。

【事務局】

千歳市景観計画は、「北海道景観計画」と千歳市がこれまでに策定してきた「ちとせ都市景観ガイドプラン」及び「ちとせ都市景観ガイドライン」を基本に計画を策定している。また、キウス周堤墓群については、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の 17 遺跡の関係市町で共通した基準を定め、これは北海道が定めている建築物や工作物を建築する際の届出対象行為の基準よりも厳しいものとしている。